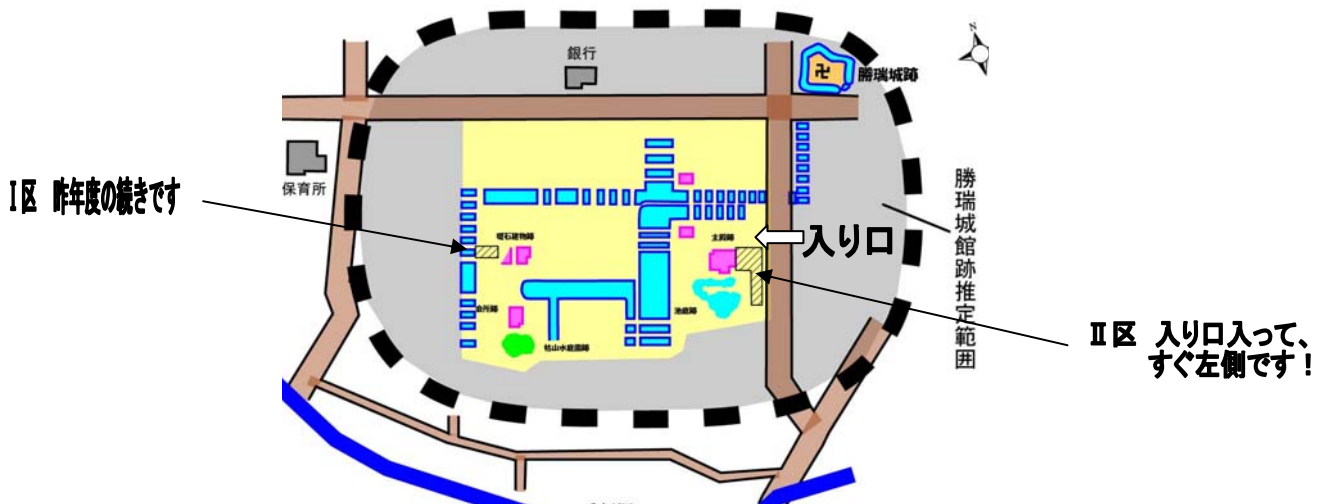


# 発掘だより

H21. vol, 1

～6月から始まる発掘調査！！～

今年は、調査場所を2ヶ所で予定しています。1ヶ所は、平成12・13年の調査で「主殿」と考えられる大規模な礎石建物跡と、平成16・17年の調査で国史跡となった「池庭」の東側（Ⅱ区）で、もう1ヶ所は、昨年度の調査区南側で発見された池状遺構の続き（Ⅰ区）になります。

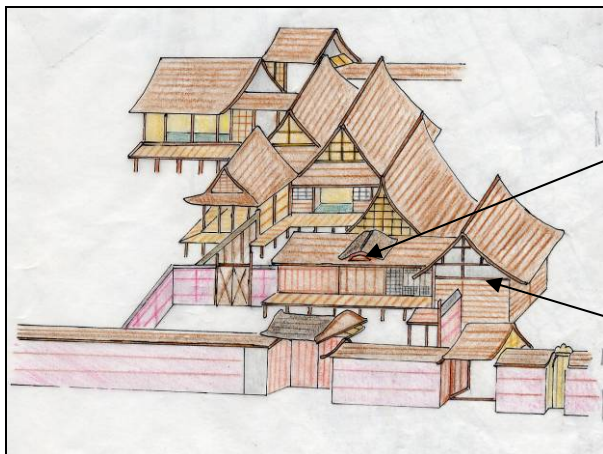


Ⅱ区では、西側に「主殿」と考えられる礎石建物跡が発見されています。この建物跡は、平成19年の国民文化祭のときに徳島大学との共同研究により、CGで復元されました。その復元では、東側に主殿の入り口となる車寄せが想定されています。

洛中洛外図屏風の武家屋敷を見ると、車寄せの前には門があり、側には遠待といわれる建物が描かれています。今回の調査区はこれらの位置にあたる地点となることから、勝瑞城館への入り口（門）や、遠待と推定されるような建物跡などが見つかるのでは、と考えています。



中野真弘氏による 復元CG



洛中洛外図で見られる武家屋敷

くるまよ  
車寄せ

昔、牛車（ぎっしゃ）を寄せて乗り降りするために廂（ひさし）の屋根を張り出し、下を敷石にした場所  
現代では、ポーチ・玄関

とおさぶらい  
遠待

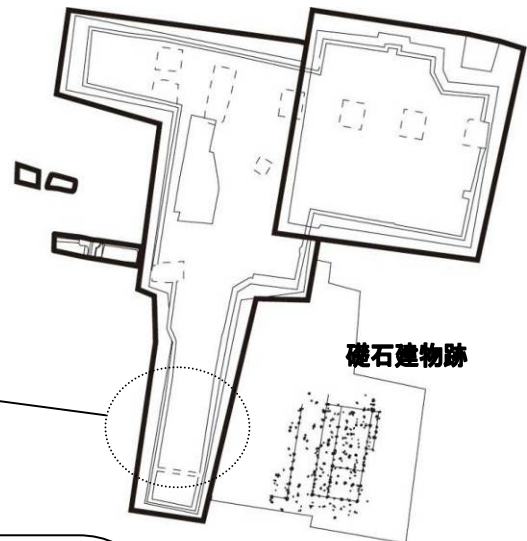
主殿から遠く離れた中門のわきなどに設けられた警護の武士の詰所

I 区では、昨年度の調査区の南側で発見された集石（池状の落ち込み）の確認となります。昨年度の調査ではその性格等を明らかにできなかったので、範囲を少し広げて調査します。また、集石の東側には平成12・15年に発掘調査した礎石建物跡がありますが、集石の現場から10mと離れておらず、この建物跡との関係も調べます。

集石の拡大図



昨年度の調査区



この集石の広がる  
範囲や、その性格を  
確認！

集石と礎石建物跡  
の関係を調査！

今年、11月30日まで調査の予定です。

この勝瑞の現場は、「勝瑞城館跡」として国史跡に指定されています。昨年度からは枯れ山水庭園や、濠の一部を復元予定で史跡整備もはじまりました。（外灯が立っているところ）今までの発掘成果が形となって公園となっていくます。これからも発見があれば史跡として復元されるかも知れません。期待してください。

「勝瑞城館跡」は、指  
定面積約50000㎡  
鳴門の「ポカリスエットスタジ  
アム」が、すっぽり入ってまだ  
余裕です。広いね～！

H.SATOMI

問い合わせ先  
藍住町教育委員会 社会教育課  
勝瑞発掘現場事務所  
TEL・FAX (088) 641-3466  
URL: <http://www15.ocn.ne.jp/~shouzui/>  
E-mail: [syugomachishouzui@air.ocn.ne.jp](mailto:syugomachishouzui@air.ocn.ne.jp)